

事例  
研究高齡者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

札幌市内でマクドナルド店を運営  
株式会社ハーベストマクドナルド15店舗を  
幅広い世代のスタッフが運営

株式会社ハーベストは、札幌市内のマクドナルド15店舗を運営しているフランチャイジーだ。同社が運営する大通公園地下街にある、オーロラタウン店を訪ねた。

同店の店長、児玉章浩さんに伺った。「営業時間は朝7時30分から20時30分。スタッフの配置は大まかに言って、朝が主婦とシニア、夕方以降が学生となります」。なるほど、10代からシニアまで幅広い世代がこの職場で活躍しているのだ。この店のスタッフは約70人。このうち60歳以上は8人。「ここ4～5年でシニアスタッフが少しずつ増えてきました」（児玉さん）。学生は貴重な戦力だが残念ながら卒業すると辞めてしまう人が多い。「その点、シニアは遅刻や急な休みもないし、シフトも安定しているので安心して仕事を任せられます」と児玉さん。

齊藤幸治さん（72歳）が入社したのは5年前。シニアワーキングの合同企業説明会で株式会社ハーベストの説明を聞いて、シフトが自由に選べるということに興味を持ち、職場

体験を経て、納得して入社したのだという。以来、週3日、1日3時間のペースで勤務している。齊藤さんのすごいところは、希望のシフトを申請するとき、店が一番忙しい時間帯である12時から15時を敢えて選ぶということだ。

忙しいほど働き甲斐がある  
60代の頃より70代の今の方が体が動く！

「ひっきりなしにお客様が来店される時間帯ですが、忙しければ忙しいほど刺激になるんです。休みなく体を動かしていることが楽しい！忙しくて大変な店にとっても、自分自身の健康にとってもいいんじゃないかと思います」と齊藤さんはおっしゃる。70歳を過ぎていた人の言葉とは思えない。このハードな仕事を続けるため、齊藤さんはストレッチをしたり、腹筋、背筋を鍛え、腕立て伏せも毎日しているのだと言う。「60代の頃よりも、72歳の今の方が体が動くようになった」とも言う。自宅がある豊平区から15分～20分かけて、歩いて通っている。「お金を貰っている以上、プロですから。働ける体を維持するのも仕事です」。



写真左) 大通公園の地下街にある「マクドナルド オーロラタウン店」の外観。  
写真中) 入社以来5年間、ポテトの担当として活躍されている齊藤さん。  
写真右) ランチタイムには長蛇の列ができるレジ。

会社概要 【会社名】株式会社ハーベスト  
【本社】札幌市中央区北3条西18丁目2-10MMAビル3階  
【代表者】 畠 勝彦

【設立】2000年7月19日  
【電話】011-633-1511  
【事業内容】ハンバーガーレストランチェーンの運営

【スタッフ数】700人  
【年商】31億円(2021年)

齊藤さんは、入社以来5年間ずっとポテトの業務を担当。ポテトを揚げて塩を振り、S、M、Lにセットする。揚げ時間は〇分〇秒、Sは〇グラム、Mは〇グラム、Lは〇グラム。齊藤さんの口からはポテトを美味しく揚げるための時間と適量の重さがためらいなく、すっと出た。

「実は職場体験のとき、齊藤さんのポテトのセンスは光っているなと思ったんですよ」と児玉さん。ポテトは来店するお客様の約8割がオーダーするマクドナルドの一番人気の商品だ。なんと、齊藤さんはこのポテト担当の代表としてコンテストに出場している。コンテストはALL JAPAN CREW CONTEST (略称AJCC)。マクドナルドが開催している技能コンテストだ。齊藤さんは5年連続で出場、うち1回は株式会社ハーベストの15店舗を代表して出場しているのだ。会社からの信頼がどれほど篤いのが分かる。

「齊藤さんだったらあと20年くらいは働けるんじゃないでしょうか」と児玉さん。「そうしたらもう90歳を過ぎてますよ」と齊藤さんが笑って応える。90歳を過ぎた齊藤さんが元気よくポテトを揚げている姿を見たいものだ。

株式会社ハーベスト  
オーロラタウン店  
店長 児玉章浩さん  
40代のころから30年以上、マクドナルドで働いているシニアの方もいらっしゃるという。働きやすい職場なのだろう。ご自身も学生の頃、働いた経験もあるのだとか。



齊藤幸治さん(72歳)  
休みの日は、1日2万歩は歩くという。「ほとんど家にいることはありません」。なにもしていない時間は苦手。とにかく忙しく身体を動かしている。

社労士からひとこと!



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

「人生で今が一番若いのよ。」

先日友人に言われた言葉です。私もシニアの世代に足を踏み入れ、「膝が痛い。」「腰が痛い。」と自分の体に対しての文句が多くなりました。「あの頃はこんな事も簡単にできたのに、今ではできない。」と過去の自分と比較しがちです。そんな会話をしている時に友人の口から出た言葉が「人生の中で今が一番若いのよ。」という言葉で

した。  
60代の頃より70代の今の方が、体が動くと仰る齊藤さん。体を動かすことのみならず、ポテト担当としてコンテストに店舗グループの代表として出場されている「緊張感」も、若さの秘訣なのではないでしょうか? 身体も頭もバランスよく鍛えていきたいものです。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

求人開拓室

☎ 011-708-7865

☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市  
02-H01-22-2552  
R4-2-1596

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。